

ヨシ原の保全活動による CO2 回収

たねやグループでは、2016 年よりラ コリーナ近江八幡にほど近い近江八幡市北之庄町の北之庄沢にてヨシ刈りを行い、ヨシ原の保全活動と刈り取ったヨシを使い地域の伝統文化の継承を進めています。

ヨシは日本各地の水辺に生息する背の高いイネ科の植物です。1 年で 3~4 メートルほど生長し秋にはススキのような穂をつけますが、地下茎で繁殖します。ヨシは地下茎から水中の窒素やリン酸を吸収して生長するため水質浄化作用があり、光合成によって二酸化炭素をたくさん吸収します。

ヨシ刈りを行いその材を利用することは CO2 の回収に貢献します。

**たねやグループが 2026 年に実施した 3,800 m²のヨシ刈りにより
6.21 t の CO2 を回収しました。**

※滋賀県 HP にて公開のヨシ刈り活動による CO2 算定ツールを使用しています。



画像 ©2026 Airbus、Maxar Technologies、地図データ ©2026 50 m

▲白枠線内ヨシ刈り 面積 3,800 m²

6.21 t - CO2 とは？

環境省の「家庭部門の CO2 排出実態統計調査」によると、日本の 1 世帯が 1 年間に排した CO2 は 2.59t です。つまり 6.21 t - CO2 は日本の一般家庭 2.4 世帯が 1 年間で排出する量に値します。